

令和4年中の事業用トラックの飲酒事故事例

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等

事故等の種類	車籍地	発生日時	死傷状況		当時の状況	
			死亡	負傷		
1	酒気帯び衝突	佐賀県	1月26日 5時52分			神奈川県的高速道路と国道の合流地点において、佐賀県に営業所を置く 大型トラック が進路変更しようとした際、 右側車線を直進していた乗用車と衝突 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
2	酒気帯び横転	千葉県	3月5日 11時00分	1		千葉県の国道において、同県に営業所を置く 大型トラクタ・トレーラ が 運行中に横転 した。 この事故により、当該大型トラクタ・トレーラの運転者が軽傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラクタ・トレーラ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
3	酒気帯び衝突	石川県	3月25日 20時30分			栃木県の国道において、石川県に営業所を置く 大型トラック が運行中、国道に合流する際、 走行していた側道の左側ガードレールに接触し、弾みで中央分離帯に衝突、更に道路左側のガードレール及び街灯に衝突し停車 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
4	酒気帯び衝突	福岡県	3月28日 0時30分			山口県的高速道路において、福岡県に営業所を置く 大型トラック が走行車線を運行中、ハンドル操作を誤り、 追越車線を走行していたトラックの側面に衝突 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
5	酒気帯び衝突	岡山県	4月15日 16時20分	1		岡山県の国道において、同県に営業所を置く 大型ダンプ が対向車線にはみ出し、 対向車線を走行してきた大型トラックと衝突 し、そのまま現場から立ち去った。 この事故により、大型トラックの運転者が軽症を負った。 事故後の警察の調べにより、当該大型ダンプ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転等）の疑いで逮捕された。
6	酒気帯び衝突	新潟県	4月17日 14時00分			新潟県の飲食店駐車場において、同県に営業所を置く 大型トラック が後退する際、 駐車していた乗用車及び店舗の看板に衝突 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。
7	酒気帯び衝突	栃木県	4月26日 1時54分			千葉県の国道（トンネル内）において、栃木県に営業所を置く 大型トラック が片側2車線の第二通行帯を運行中、 第一通行帯を走行していた大型トラクタ・トレーラに接触 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。
8	酒気帯び衝突	千葉県	5月14日 5時49分	1		千葉県の国道において、同県に営業所を置く 大型トラック が運行中、赤信号を無視して交差点内に進入し、 対向車線から右折してきた乗用車と衝突 した。 この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。 事故後、当該大型トラック運転者は現場から立ち去り、約1時間後に警察に出頭した。 その後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転等）の疑いで逮捕された。
9	酒気帯び衝突	兵庫県	5月16日 23時27分			広島県の市道において、兵庫県に営業所を置く 大型トラック が運行中、 ガードレールに衝突 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒酔い運転）の疑いで逮捕された。
10	酒気帯び衝突	富山県	6月6日 13時00分			富山県の県道において、同県に営業所を置く 中型トラック が運行中、中央分離帯を乗り越えて 反対車線の街路樹に衝突 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該中型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
11	酒気帯び横転	高知県	7月14日 15時30分			高知県の国道において、同県に営業所を置く 大型ダンプ が運行中、対向車線にはみ出し、 歩道に乗り上げ横転 した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該大型ダンプ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反の疑いで逮捕された。